

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	週1	国語	現代の国語	2
教科書				メディア利用	
新編現代の国語（東京書籍）				あり	
学習目標					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	7月29日	こそめスープ 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	6-17	1.確認テスト
	第2回	7月29日	未来をつくる想像力 情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。	24-38	2.確認テスト:24-48
	第3回	7月29日	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。	68-86	4.確認テスト
	第4回	7月29日	鍋洗いの日々 自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	94-115	5.確認テスト
	第5回	7月29日	美しさの発見 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。	142-158	7.確認テスト
	第6回	7月29日	不思議な拍手 人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。	166-187	8.確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	週1	国語	文学国語	2
教科書				メディア利用	
文学国語（東京書籍）				あり	
学習目標					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月29日	光の窓 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。	8-55	I 部 1 確認テスト
	第2回	7月29日	窓 場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える	34-56	I 部 2 確認テスト① I 部 2 確認テスト② I 部 3 確認テスト
	第3回	7月29日	山椒魚 登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。	58-92	I 部 4 確認テスト① I 部 4 確認テスト②
	第4回	7月29日	永訣の朝 表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。	94-114	I 部 5 確認テスト① I 部 5 確認テスト②
	第5回	7月29日	こころ 人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	116-148	I 部 6 確認テスト① I 部 6 確認テスト②
	第6回	7月29日	文学のふるさと 具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。	150-188	I 部 7 確認テスト① I 部 8 確認テスト① I 部 8 確認テスト②
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
無	前期	週1	地理歴史	歴史総合	2	
教科書				メディア利用		
新選歴史総合（東京書籍）				あり		
学習目標						
近現代を中心に、史資料を活用し、日本と世界の歴史を相互に関連付け学び、多角的に歴史を考察する。また、課題を追究、解決する活動を通して、現代の問題と歴史との関連を学ぶ。広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7/29	内容：18世紀の東アジア、イギリスの産業革命、東アジアの国際秩序の変化と日本の開国など 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。		7-51	
	第2回	7/29	内容：アメリカの独立とフランス革命、明治維新、日清・日露戦争など 幕末から日露戦争の動乱の中で、日本の国際社会での動向を学ぶことで、現代の政治・経済・文化の基盤を把握する。		52-83	2章1節2節 3節4節 確認テスト
	第3回	7/29	内容：第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌、ソ連の成立など 大衆化と対外政策、国際政治との関係を考え、第一次世界大戦が従来の戦争と大きく異なる点を学び、平和構築について思索する。		84-111	3章1節2節 確認テスト
	第4回	7/29	内容：世界恐慌、第二次世界大戦、太平洋戦争、第二次世界大戦後の世界など 戦争の悲惨な実態を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。		112-141	3章3節4節 確認テスト
	第5回	7/29	内容：冷戦、地域紛争、冷戦下の世界など 東西冷戦下での対立と地域紛争を学ぶことで、国際関係や平和を維持するための外交の重要性を考察する。		142-169	4章1節2節 確認テスト
	第6回	7/29	内容：石油危機、冷戦の終結、グローバル化と地域統合 現代社会が抱える問題を理解し、未来をより良くするための視点を養う。また、多様な価値観を尊重し、国際社会で生きる資質を育む。		170-197	4章3節4節 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1回	第1章 2節 結びつく世界と日本の開国 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。				別途コース別時間割 による
	第2回	第2章 3節 経済危機と第二次世界大戦 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。				別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	週1	公民	倫理	2
教科書				メディア利用	
倫理（東京書籍）				あり	
学習目標					
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を学び、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動するまでの多角的な視野の構築を目指す。また、人間尊重の精神とグローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	7/29	内容：青年期の課題、ギリシア思想など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。古代ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。	8-42	確認テスト ①②③
	第2回	7/29	内容：宗教、中国思想など 宗教に対する考えた方や思想を知ること、人間・社会と宗教との関わりを考えさせる。また、諸子百家の思想家たちが、人生哲学として人間のあり方についてどのように考えたか、理解する。	43-81	確認テスト ④⑤⑥⑦
	第3回	7/29	内容：ベーコン、デカルト、カント、ヘーゲル、ニーチェ、ハイデッガーなど 幸福、真理、存在などを、近代哲学者の思想から多面的に考察する。カントの説いた道徳法則、理性の命令、自律などの概念について理解し、人間としてのあり方生き方について思索を深める。ヘーゲルの弁証法や歴史観について理解させ、世界のあり方について考える。実存主義者の思想を学び、主体的な生き方について学びを深める。	82-120	確認テスト ⑨⑩⑪⑫⑬
	第4回	7/29	内容：ソシュール、日本人の精神風土（自然観） 現代思想を学び、主体的に生きることへの懐疑的な思考を養う。また、日本人の根本的なものの見方・考え方を理解する。	121-156	確認テスト ⑭⑮
	第5回	7/29	内容：日本人の精神風土（宗教観・倫理観） 日本人の根本的な宗教観・倫理観を理解し、国際社会の中で生きる日本の思想的課題をとらえる。	157-198	確認テスト ⑯⑰⑱⑲⑳㉑
	第6回	7/29	内容：戦後思想、現代の諸課題 戦後日本の平和と民主主義の精神を学び理解し、問題点を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。	199-235	確認テスト ㉒①②③
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第2章 2節 ギリシャの思想 ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。			別途コース別時間割による
	第2回	第3章 3節 人格の尊厳と人倫の思想 カント、ヘーゲルの思想を学ぶことで、人間や世界のあり方について考察する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
1	前期	週1	数学	数学Ⅰ	2	
教科書				メディア利用		
新数学Ⅰ（東京書籍）				あり		
学習目標						
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、 数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を 振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
添 削 課 題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	7月31日	0章0節数の計算 1. 整数の計算 （教科書P4～P11）		P4～P11	—
	第2回	7月31日	2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 （教科書P12～P23）		P12～P23	—
	第3回	7月31日	4. 正負の数の計算 （教科書P24～P29）		P24～P29	数と計算確認 テスト
	第4回	7月31日	第1章 文字と式 第1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算 (Ⅰ) 4 多項式の計算 (Ⅱ) 5 乗法公式 6 因数分解 (Ⅰ) 7 因数分解 (Ⅱ) 8 展開、因数分解のくふうと利用		P35～P47	—
	第5回	7月31日	第2節 実数 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 数の分類 4 分数と小数		P48～P57	—
	第6回	7月31日	第3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方 6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式		P58～P72	1章確認テスト
面 接 指 導 日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	添削課題第4回の内容について以下の観点で学習する。 ・指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 ・乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。 ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 ・ x^2 の係数が1以外の多項式を因数分解することができる。 ・式の一部分を1つの文字に置き換えて考えるなど、見直しをもって多項式を展開、因数分解することができる			別途コース別 時間割による	
	第2回	添削課題第5回～第6回の内容について以下の観点で学習する。 ・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それ活用できる。 ・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。また、1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解、解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。			別途コース別 時間割による	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末試験（7月） （試験範囲、時間割は2週間 前に発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、ノート・ワーク提出 で評価する。				

令和7年度 通信教育実施計画														
学年	学期	コース	教科				科目				単位数			
(3)	前期	週1・オンライン	保健体育				体育				2			
教科書														
現代高等保健体育（大修館書店）														
学習目標														
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。														
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等		
	第1回	内容：生涯スポーツ、豊かなスポーツライフについて 提出期限：5月23日（金）										P.182～199		
面接指導日	クラス	9組	10組											
	第1回	別途コース別 時間割による												
		1体育の心得 2 単位について（シラバス） 3 体育時の服装について 4 体育授業についてのルール												
	第2回	別途コース別 時間割による												
		1 運動の意義 2 列の増減 3 挨拶の仕方												
	第3回	別途コース別 時間割による。												
体づくり運動（1 大縄跳び 2 棒送り 3 開志体操）														
第4回	別途コース別 時間割による													
	体づくり運動（1 大縄跳び 2 開志体操）													
第5回	別途コース別 時間割による													
	体づくり運動テスト（開志体操の試技）													
単位認定試験			評価方法											
なし			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。											

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
(1)	前期	選1・オンライン	保健体育	保健	1

教科書

現代高等保健体育（大修館書店）

學習目標	
------	--

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

添削課題	回数	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	内容：思春期と健康、性意識と性行動の選択 提出期限：8月22日	3単元 性意識と性行動の選択 2、3
	第2回	内容：妊娠・出産と健康、避妊本と人工妊娠中絶 提出期限：8月22日	3単元 性意識と性行動の選択 4、5
	第3回	内容：性感染症・エイズとその予防、結婚生活と健康 提出期限：8月22日	1単元 現代社会と健康 17 3単元 性意識と性行動の選択 6

面接指導日	クラス	9組	10組												
	第1回	別途コース別 時間割による													
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について													

単位認定試験	評価方法
期末（8月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表	試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。

令和7年度 通信教育実施計画													
学年	学期	コース	教科				科目				単位数		
(2)	前期	選1・オンライン	保健体育				保健				2		
教科書													
現代高等保健体育（大修館書店）													
学習目標													
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。													
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等	
	第1回	生活習慣病の予防と回復、がんの原因と予防、がんの治療と回復、食事と健康 提出期限：5月30日										1単元 現代社会と健康 1、4、5、7	
	第2回	喫煙と健康、飲酒と健康、薬物乱用と健康 提出期限：5月30日										1単元 現代社会と健康 9、10、11	
	第3回	精神疾患の特徴、精神疾患の予防、精神疾患からの回復 提出期限：5月30日										1単元 現代社会と健康 12、13、14	
	第4回	現代の感染症、感染症の予防 提出期限：8月22日										1単元 現代社会と健康 15、16	
	第5回	性感染症・エイズとその予防、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊と人工妊娠中絶 提出期限：8月22日										1単元 現代社会と健康 17 3単元 生涯を通じる健康 3、4、5	
	第6回	応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法 提出期限：8月22日										2単元 安全な社会生活 4、5、6	
面接指導日	クラス	9組	10組										
	第1回	別途コース別 時間割による											
	第2回	別途コース別 時間割による		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について									
立認定試験				評価方法									
期末（8月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表				試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。									

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
無	前期	週1日	理科	生物基礎	2	
教科書				メディア利用		
東京書籍 「新編生物基礎」 (002：東書 生基／702)				あり		
学習目標						
・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。						
添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7/29	①生物の多様性や共通性に興味・関心を持つ。 ②生物の体内で起こる化学反応に興味・関心を持つ。 ③生物の多様性と、生物に共通する性質について理解する。 ④細胞の構造について理解する。 ⑤ATPの構造、⑥酵素のはたらき、⑦呼吸と光合成について理解する。		8-37	1編1章、2章テスト
	第2回	7/29	①遺伝や遺伝子のはたらきに興味・関心を持つ。 ②遺伝子について理解する。 ③DNAの構造と、複製のしくみについて理解する。 ④タンパク質の合成について理解する。 ⑤細胞の分化と遺伝子の発現の調節について理解する。		42-71	2編1章、2章テスト
	第3回	7/29	①ヒトの体を調節するしくみに興味・関心を持つ。 ②体液について理解する。 ③神経系の構成とはたらきについて理解する。 ④内分泌系のはたらきについて理解する。 ⑤血糖濃度を調節するしくみについて理解する。		76-99	3編1章テスト
	第4回	7/29	①免疫のしくみと疾患とのかわりに興味・関心を持つ。 ②免疫のしくみについて理解する。 ③免疫反応について理解する。 ④二次応答と予防接種について理解する。 ⑤アレルギーや自己免疫疾患、AIDSについて理解する。		100-117	3編2章テスト
	第5回	7/29	①身のまわりの共生やバイオームに興味・関心を持つ。 ②生態系における作用と環境形成作用について理解する。 ③森林多土壌の構造について理解する。 ④適性について理解する。 ⑤世界と日本のバイオームについて理解する。		122-143	4編1章テスト
	第6回	7/29	①身のまわりの生態系に興味・関心を持つ。 ②食物網について理解する。 ③生態系における生物間の関係について理解する。 ④生態系の構造と変化について理解する。 ⑤生態系を保全する必要性について理解する。		144-165	4編2章テスト
面接指導日	クラス	9組				
	第1回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる	
			学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			
	第2回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる	
			添削課題の取り組み（進捗状況の確認）について			
	第3回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる	
			実習①-1 カタラーゼのはたらき 実験			
	第4回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる	
			実験①-2 カタラーゼのはたらき 実験の振り返り			
第5回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる		
		実験②-1 DNAの抽出実験				
第6回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる		
		実験②-2 DNAの抽出実験の振り返り				
第7回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる		
		実験③ DNA模型の作製				
第8回	※			※日程はコースの授業スケジュールによる		
		期末試験について				
単位認定試験		評価方法				
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	通1	芸術	書道Ⅰ	2
教科書					
書Ⅰ(教育図書)					
学習目標					
時代を代表する様々な名筆・古筆の臨書(課題)を通して、書の伝統と文化について考え、書に親しむ心を養い、書の美を味わう感性を豊かにする。					
添削課題	回数	締切日	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	7月22日(火)	楷書の特徴・用筆と字形・基本点画・書風について学び、六点の楷書の古典の中から一点を選んで臨書する(課題)。		教科書p.18～34
	第2回		同上。更にもう一点を選んで臨書する(課題)。		教科書p.18～34
	第3回		日本独自の仮名の成立過程や字源、用具・用材や基本的な線の書き方について習得し、単体でいろは歌を執筆する(課題)。		教科書p.80・81
	第4回		古筆に出てくる変体仮名の字源について学び、古筆より集字した変体仮名を執筆する(課題)。		教科書p.82・83
	第5回		漢字仮名交じりの書の変遷や古典を生かした、線による、用具用材による表現方法や紙面構成について学び、好きなお手本作品群の中から倣書する(課題)。		教科書p.116～119
	第6回		楷書・仮名・漢字仮名交じり書の学習を通して、集大成として葉書に一字書を執筆する(課題)。		教科書p.18～119
面接指導日	クラス	9組・10組			
	第1回	別途コース時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
	第2回	別途コース時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
	第3回	別途コース時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
	第4回	別途コース時間割による			
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。			
第5回	別途コース時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
第6回	別途コース時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
第7回	別途コース時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
第8回	別途コース時間割による				
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。				
単位認定試験		評価方法			
無し		6回の添削課題の提出の有無と出来、授業態度等を勘案して三観点で、五段階評価を行う。			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
1	前期	週1	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	
教科書				メディア利用		
All Aboard!! English CommunicationⅠ（東京書籍）				あり		
学習目標						
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	2025/5/30	Warm-up、Lesson 1、2の新出単語、語句を理解する。		8-19 20-27 28-37	Warm-up、 Pre-Lesson
	第2回	2025/5/30	世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。動詞の過去形、進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。Warm-up、Lesson 1～3の表現を理解する。		8-19 20-27 28-37	Lesson 1
	第3回	2025/5/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		8-19 20-27 28-37	Lesson 2
	第4回	2025/8/22	Lesson 3、Lesson 4、Lesson 5の新出単語、語句を理解する。		38-47 48-59 60-77	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
	第5回	2025/8/22	被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。can、willを用いた文の形・意味・用法を理解する。海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。		38-47 48-59 60-77	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
	第6回	2025/8/22	can、willを用いた文、to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いた文、動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		38-47 48-59 60-77	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による	
	第2回	辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。be動詞、一般動詞、動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。			別途コース別時間割による	
	第3回	進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉、助動詞can、willを用いた文の形・意味・用法を学習し、理解する。			別途コース別時間割による	
	第4回	to不定詞〈to＋動詞の原形〉、動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を学習し理解する。			別途コース別時間割による	
	第5回	音読指導			別途コース別時間割による	
	第6回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による	
	第7回	英作文指導（過去形、進行形）			別途コース別時間割による	
第8回	英作文指導（to不定詞、動名詞）			別途コース別時間割による		
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
あり		試験範囲 p 8～77 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	週1	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2
教科書				メディア利用	
All Aboard!! English Communication Ⅱ（東京書籍）				あり	
学習目標					
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	2025/5/30	Pre-Lesson、Lesson 1、Lesson 2、Lesson 3の新出単語や語句を理解する。	8-19 20-29 30-41	Pre-Lesson、 Lesson 1
	第2回	2025/5/30	イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。to不定詞や助動詞willなどを用いられた文の形・意味を理解する。比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解している。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理する。ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について調べた事柄を整理・理解する。itを用いた文〈It is … (for →) to ～〉〈It is … that ～〉の形・意味を理解する。	8-19 20-29 30-41	Lesson 2
	第3回	2025/5/30	to不定詞や助動詞willなどを用いられた文、比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文、itを用いた文〈It is … (for →) to ～〉〈It is … that ～〉の形・意味を理解し、指示された英作文を作成する。また、Communication 1の語句を学習する。	8-19 20-29 30-41	Lesson 3
	第4回	2025/8/22	Lesson 4、Lesson 5、Readingの新出単語や語句を理解する。し、自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身につける。	42-55 56-69 70-77	Lesson 4
	第5回	2025/8/22	間接疑問文の形・意味を理解している。また、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、好きな物語について調べた事柄を整理・理解する。to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解し、日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につける。英語で書かれたMujinaの内容を理解し、読み取る技能を身につけている。	42-55 56-69 70-77	Lesson 5
	第6回	2025/8/22	現在完了進行形などの英作文を作成する。日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えを英語で表現する。	42-55 56-69 70-77	Reading 1
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第 1 回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第 2 回	今年やってみたいことなどを、to不定詞や助動詞willなどを用いて、相手に伝える技能を身につけている。関係代名詞whatの理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、英語で述べることができる。			別途コース別時間割による
	第 3 回	比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、英語で述べることができる。itを用いた文〈It is … (for →) to ～〉〈It is … that ～〉の形・意味を理解する。			別途コース別時間割による
	第 4 回	音読指導			別途コース別時間割による
	第 5 回	間接疑問文の形・意味を理解している。to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。			別途コース別時間割による
	第 6 回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第 7 回	英作文指導（to不定詞、比較など）			別途コース別時間割による
第 8 回	英作文指導（現在完了進行形など）			別途コース別時間割による	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p8～77 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	週1	外国語	論理表現	2
教科書				メディア利用	
NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)				あり	
学習目標					
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	2025/5/30	Unit 1 Lesson 1～9の重要単語、語句を理解する。	14-31 32-49 50-67	Unit 1 Lesson 1- 3
	第2回	2025/5/30	Unit 1 Lesson 1～9の表現、内容を理解する。	14-31 32-49 50-67	Unit 1 Lesson 4- 6
	第3回	2025/5/30	褒める、勧める、断るときの表現や体調を伝える、体調を尋ねる、指示・アドバイスをするときの表現、誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し表現する。	14-31 32-49 50-67	Unit 1 Lesson 7- 9
	第4回	2025/8/22	Unit 1 Lesson 10～12の重要単語、語句を理解する。 Unit 2 Lesson 1～Lesson 8の重要単語、語句を理解する。	68-85 88-111 112-135	Unit 1 Lesson 10- 12
	第5回	2025/8/22	Unit 1 Lesson 10～12の表現、内容を理解する。 Unit 2 Lesson 1～Lesson 8の表現、内容を理解する。	68-85 88-111 112-135	Unit 2 Lesson 1- 4
	第6回	2025/8/22	謝る、許す、励ますときの表現やできごとを生き生きと描写する、経験からアドバイスをするときの表現、利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるときの表現の形を理解し、表現する。	68-85 88-111 112-135	Unit 2 Lesson 5- 8
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	音読指導			別途コース別時間割による
	第5回	音読指導			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導			別途コース別時間割による
	第7回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第8回	英作文指導			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p 14～135 学習のポイント 各レッスンの内容・表現を確認しておく			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	週1	家庭	家庭総合	2
教科書				メディア利用	
高等学校 家庭総合 自立 共生 創造（東京書籍）				あり	
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（3）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	7月29日	第1章：生涯を見通す 第2章：人生をつくる 第3章：子どもと共に育つ 【知識・技能】	p.10-17 p.20-43 p.44-75	第1章確認テスト
	第2回	7月29日	第4章：超高齢化社会を共に生きる 第5章：共に生き、共に支える 【知識・技能】	p.76-93 p.94-103	第2章確認テスト
	第3回	7月29日	第1章～第5章の内容についての 知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	p.10-17、p.20-43 p.44-75、p.76-93 p.94-103	第3章確認テスト
	第4回	7月29日	第5章の内容について 生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動 を計画する 【主体的】	p.94-103	第4章第5章 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割 による
	第2回	第3章 子どもと共に育つ 妊婦体験を通して、妊婦出産や母体の変化・周囲の理解について学習する			別途コース別時間割 による
	第3回	第3章 子どもと共に育つ 赤ちゃんのお世話実習を通して子どもについて学習する			別途コース別時間割 による
	第4回	期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	週1	家庭	家庭総合（後半）	2
教科書				メディア利用	
高等学校 家庭総合 自立 共生 創造（東京書籍）				あり	
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	7月29日	第6章：食生活をつくる 第7章：衣生活をつくる 【知識・技能】	p.104-159 p.160-179	第6章確認テスト
	第2回	7月29日	第8章：住生活をつくる 第9章：経済生活を営む 第10章：持続可能な生活を営む 【知識・技能】	p.202-229 p.230-251 p.252-261	第7章確認テスト
	第3回	7月29日	第6章～第10章の内容についての 知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	p.104-159、p.160-179 p.202-229、p.230-251 p.252-261	第8章確認テスト
	第4回	7月29日	第7章の内容について 生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動 を計画する 【主体的】	p.160-179	第9章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割 による
	第2回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する			別途コース別時間割 による
	第3回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する			別途コース別時間割 による
	第4回	期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する			